

マキシン・ウォータース連邦下院議員  
財政委員会役員  
(カリフォルニア 43 区)

2016 年 1 月 14 日 マスメディア各位へのお知らせ

連絡先：ジョスリン・スティーラー, 202-225-2201, [Jocelyn.Steele@mail.house.gov](mailto:Jocelyn.Steele@mail.house.gov)

## ウォータース議員、敬老シニアヘルスケアの 高齢者の権利を擁護

ロサンゼルス - マキシン・ウォータース連邦下院議員(カ州 43 区)・財政委員会役員は、ガーデナのファースト・サザン・バプティスト教会で、1 月 14 日、敬老施設を守る公開記者会見を開き、以下の声明を發表しました。

ウォータース議員の声明文は以下の通りです。

お早うございます。今日は私たちが尊重する大切な高齢者を守るために皆さんにお集まりいただきまして、ありがとうございます。まずはこの献身的な市民の集まりである敬老を守る会特別委員会と、その代表者で敬老を守る運動を強力に押し進めて、今日私たちが集えるようご尽力いただいたチャールズ井川先生に対する称賛の言葉から始めます。

今日私の隣に立っている人たち、連邦下院で私の同僚であるジュディー・チュウ議員(カ州 27 区)、また元カリフォルニア州議会議員で友人のジョージ・ナカノ氏にもお礼を申し上げます。

最後になりましたが、この運動に時間と専門知識を提供してくださっている 4 つの団体、ベット・ゼディック(Bet Tzedek)、ロサンゼルス法律扶助財団(Legal Aid Foundation of Los Angeles)、ギブソン・ダン・クラッチャー法律事務所(Gibson Dunn and Crutcher Law Firm)、そしてカリフォルニア介護施設改善促進支援機構(California Advocates for Nursing Home Reform Organization)の方々にも感謝を申し上げます。

敬老を守る会特別委員会・チュウ議員・ナカノ氏と私は、敬老シニアヘルスケアの施設売却により、長年に亘って日系高齢者に提供されてきた施設が閉鎖され、健康と住居を守るサービスが結果的に終了することに対して反対を表明するために集まりました。早ければ今月末にはこの売却が完了する可能性があり、

**600 人も**の低所得の日系高齢者が住居と医療サービスを失うことになりかねない状況です。

何もしないでこの事態が起きるを傍観しているわけにはいかないのです。私たちは、高齢者と日系アメリカ社会のために反撃しなければなりません。私たちが今日ここに来ているのは、**敬老施設のパシフィカ社への売却決定を司法長官に破棄してもらい、日系高齢者の住む場所と医療サービスが守られるよう呼びかけるため**です。

売却に関して詳しい話をする前に、敬老シニアヘルスケア施設について、その居住者や私たちのコミュニティで果たしている役割について話させてください。**1961 年**以来、敬老は日系アメリカ社会の中で老後を安心して托せる場所でした。ガーデナの私の管轄区域に位置する道の向かいにある施設を含め、ボイルハイツとリンカーンハイツにも施設を構え、敬老は日系アメリカ社会に貢献する、全米で最大の非営利の健康管理施設にまで成長しました。

この健康管理施設は、**13 万人**をこえる家族たちを支えてきました。そして高齢者を尊重する文化的な価値観のもとに創られたのでした。これまで**50 年**以上に亘って献身的なコミュニティ・有能でよく気の付く従業員・何百人もの熱心なボランティアは、日系高齢者の晩年に心温かいケアとプログラムを提供して、この文化的な価値観を実践してきたのです。

そして現在、日系アメリカ人の人口の**5 分の 1**が**65 歳**以上になっています。これは全米の平均値の**2 倍**です。敬老は今まで以上に健康管理施設と居住施設を日系社会に提供していくことが必要になってきているのです。

多くの高齢者が敬老施設で生涯を暮らせると固く信じて、日本に残した財産を売りました。

この誇らしい歴史と気高い使命にもかかわらず、**昨年**の終わりに敬老が営利会社である不動産開発会社、パシフィカ社に売られようとしていることを私は知らされたのです。この会社の目的は、敬老が現在果たすべき使命や日系社会の価値観とは全く並立できないものです。

非営利団体が営利団体へ売られる場合については、細心の注意を払う必要があります。この売却関連で特に問題となる点があります。第一に、売却が提案される前に慣例上法律で定められ、開催義務がある公聴会が開かれませんでした。居住者・その家族・敬老にかかわる人たちは、売却に関して不安な気持ちを表明したり反対する機会が全く与えられなかったのです。高齢者や低所得の市民たちは、自分の生活が大きく左右されるような決定に対し、意見を言う機会がないまま取り残されてしまうことが往々にしてあります。

第二に、この売却は買い手であるパシフィカ社に対して、今の居住者やその家族を守る点では、限定的でそれほど重要でない条件を守ることしか要求されていないのです。具体的に言えば、パシフィカ社は、敬老が現在提供している文化的な配慮をしたプログラムやケアを、同じレベルで継続するように求められてはいません。この文化的に配慮されたケアは敬老施設の存在価値の基盤になるもので、だからこそ、この健康医療施設は私たちのコミュニティで計り知れない価値があるのです。それでも万一売却されれば、先に挙げた総てが失われることでしょう。

第三に、最も問題なのは、現在の売却条件が引退者ホーム・介護施設の入居費を将来値上げするのを認めていることです。現在居住している低所得の日系アメリカ人の大多数が入居費の上昇で、本来受けられたはずのサービスを受けられなくなってしまう可能性が高いのです。率直に言って、それはおかしいです。不公平です。正義ではありません。

私の管轄区域にサウスベイ敬老介護施設があることから、国会議員として、私はこの高齢者と低所得の高齢者を守り、正義と平等のために戦う重大な責任があります。

私は敬老を守る会特別委員会に対して、この売却を阻止し、敬老が日系高齢者のための非営利サービスを存続する活動を支援していくこと、そのための努力を続けている敬老を守る会の活動に一貫して惜しみない支援を送り続けています。

11月に敬老を守る会主催のタウンホール集会で、チュウ議員と私、居住者・患者そして敬老への寄贈者の方々もこの健康医療施設に対する支援を表明し、売却を阻止することについて話し合えたことを嬉しく思っています。

500人を超える人たちがタウンホール集会に参加しました。そして今日また、これほど大勢の方々が引き続き私たちの高齢者を守ろうと立ち上がり、売却をさせまいと頑張り続けているのを見て、励まされる思いです。

それはタウンホール集会のときでした。敬老の居住者たちは、公聴会で反対の意思を表明するチャンスが奪われたことを初めて知りました。居住者の方々が事情を知らされず無力感を味わっていることを話してくれました。

タウンホール集会の前に、私はカリフォルニア州司法長官に直接電話をしました。彼女のチームの人たちにロサンゼルスに来てもらい、敬老を守る会の役員と話し合う機会を作ったのです。その会合で守る会の役員たちが、それまでに見つけた問題点を報告しました。司法当局側は、指摘があった問題点に対して再審査することに同意したのでした。

売却反対運動はどんどん大きくなっていき、私はプロボノ弁護士団（無料弁護活動を行う弁護士団）である、ベット・ゼディックとロサンゼルス法律扶助財団にそ

のことを知らせました。さらにこの二つの団体に著名なギブソン・ダン・クラッチャー法律事務所と、カリフォルニア介護施設改善促進支援機構も加わり、お互いに協力しあってこの売却問題に取り組み、低所得の日系高齢者たちの現状を調査して、進行中の売却が与える影響を評価してくれることになりました。今日このことをお知らせできて、とても嬉しいです。

現時点では会合以来、司法長官のチームからは、私たちが尋ねた問題に対する回答は寄せられず、最近司法長官と話したのは、売却に懸念を持つ総ての人たちが会って話し合いを持たないかという提案があったときでした。けれども私たちは、司法長官、敬老を守る会特別委員会、ベット・ゼディック、ロサンゼルス法律扶助財団、ギブソン・ダン・クラッチャー法律事務所、カリフォルニア介護施設改善促進支援機構、そしてパシフィカ社が一堂に会して会合を持つことを検討しながらも、この売却は断固として中止されなければならないという主張は変わっていません。

私たちはこの売却反対を声を大にして訴え続けなければならないのです。私たちは引き続き、その意見が十分に反映されていない日系アメリカ人居住者の権利を守るために支援を続けなければなりません。

このような幅広く他に類のないケアを失う脅威は、絶対に許されないことです。私は公聴会の開催・さらなる状況の開示・日系高齢者に対する一層の保護を求めて訴え続けます。

繰り返しになりますが、誠実かつ精力的にコミュニティに起こった不当行為と戦っている敬老を守る会特別委員会に賛辞の言葉を送るとともに、ジュディー・チュウ議員、ジョージ・ナカノ氏にお礼を申し上げます。ベット・ゼディック、ロサンゼルス法律扶助財団、ギブソン・ダン・クラッチャー法律事務所、カリフォルニア介護施設改善促進支援機構の方々がこの重要な公開記者会見に参加してくださったことに対して感謝いたします。

何よりも、公正でコミュニティが参加した包括的な手順が取られるように、私たちの日系高齢者が適切な保護を受けられるように戦い続けるとはっきりと意志表示してくださった、ここにお集まりの皆さんに大きな拍手を送ります。

###